

Cisco Guard および Traffic Anomaly Detector のパスワード回復

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

[概要](#)

このドキュメントでは、Cisco Guard または Cisco Traffic Anomaly Detector Distributed Denial of Service (DDoS) の緩和アプライアンスで **root ユーザ** のパスワードを回復する手順について説明します。このパスワードは、Cisco Guard または Cisco Traffic Anomaly Detector システムへのルートアクセスを制御するために使用されます。ルートパスワードは暗号化されており、次の手順を使用して、新しいパスワードでのみ置き換えることができます。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[ステップバイステップ手順](#)

次の手順を実行します。

1. Cisco Guard または Cisco Traffic Anomaly Detector にキーボードとモニタを接続します (この手順はシリアル接続やネットワーク接続からは実行できません)。
2. ログインし、「reboot」と入力します。
3. ボックスに電源が入る間、Shift キーを押し続けてください。すると、「Lilo boot: 」プロンプトが表示されます。
4. Tab キーを押して、使用可能な画像を表示します。注: 3.0.8 には「Cisco」の画像がありますが、古い画像には「Riverhead」と表記されています。

5. 「Cisco 1」と入力して、シングルユーザの画像をロードします (古いシステムの場合は Riverhead 1)。シングルユーザモードの場合、ここでシステムがブートします。
6. ブートプロセスの途中で、パスワードの入力を求められます。固定パスワードの「dud&ndud」を入力します。これにより、root シェルが提供されます。
7. ここで、passwd コマンドを実行して、ルートのパスワードを変更できます。次のように、選択したパスワードを確認するように求められます。

```
[root@DETECTOR root]# passwd
Changing password for user root.
New password: <new password typed in here>
Retype new password: <new password typed in here>
passwd: all authentication tokens updated successfully.
```

8. パスワードの変更後、reboot コマンドを実行して、システムを再起動します。システムが正常な操作モードになるよう、ブートプロセスを中断しないでください。

[関連情報](#)

- [Cisco Guard DDoS Mitigation Appliances](#)
- [Cisco Traffic Anomaly Detectors](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)